

No.194

平成28年 5月31日  
鹿児島県立甲南高等学校  
鹿児島市上之園町23番地1  
TEL (099) 254-0175  
題字 秋元望花 (本校教諭)

# 甲南だより

さあ、皆で肩組んで歌おう！

校長 原之園 哲哉



「あらたなる あらたなる  
世紀は明けぬ」

鴨池球場を揺らす甲南の  
校歌。一塁側観客席とグラ  
ウンドで肩を組み、歓喜す  
る全校生徒の高らかな歌  
声。右に左に揺れ動く生徒  
の波。そして、それらを包  
みこむ吹奏楽の弾む音色。  
見守る保護者や同窓会の  
方々の柔らかなまなざし。  
空はどこまでも青く澄み  
渡っている。

五連覇で幕を閉じた甲鶴  
戦であったが、生徒諸君は、  
勝利した喜びよりも、仲間  
とともに「KONAN」コー  
ルを連呼し、甲南の一員で  
あることを確かめ合えるこ  
とを喜んでいるように見え  
た。  
清風に吹かれて、ふと懐  
かしい思いに包まれた。

## 平成28年度入学式

### 新たなるステージを めざす甲南高校に 第70期生321人の若人来たり

4月7日(木)、平成28年度入学式が多くの来賓・保護者・在校生に見守られながら厳かに挙行されました。

吹奏楽部の奏でる「威風堂々」の中、やや緊張気味の新入生は温かい拍手に迎えられ、堂々と入場しました。

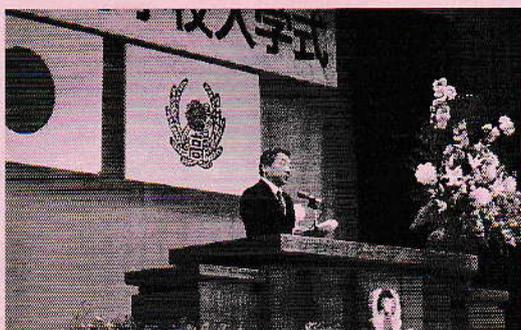
最初に原之園校長が壇上で見守る中、1組から8組まで、8人の担任が新入生321人をクラス毎に一人ずつ呼名しました。そして原之園校長の入学許可宣言の後、新入生代表の鶴田俊秀くんが、甲南高校生として目標達成に努力すると力強く宣誓をしました。

原之園校長は式辞の中で、自分の可能性を徹底的に追求することに全力で取り組んでほしいと述べました。新しいステージに向かう甲南高校の担い手となる新入生への期待を強く感じさせる内容でした。

小林祐二PTA会長は祝辞の中で、「心の顔を上げて高校生活を送ろう」と心に余裕を持った生活を送ることの大切さを話されました。

生徒会長の宮原諒真くんは、新入生に対し「甲南高校での学校生活がいかに濃厚で充実しているか」を紹介し、「甲南高校の校訓を心に刻み、一緒に伝統を引き継ごう」と歓迎の言葉を述べました。

入学式後の各教室では初めてのHRが行われ、HR資料を通して、甲南高校での生活のあり方を説明する担任の言葉に熱心に耳を傾ける新入生の姿が見られました。



甲南は、よく肩を組んで校歌を歌う学校だ。当然のごとく職員や同窓会の歓迎会でも老若男女が肩を組んで高らかに校歌を歌う。授業の始まり終わりを知らせるチャイムもアレنجされた校歌だ。つい肩を組んで歌いたくなるではないか。

風味ある味噌や醤油などは単に材料の良し悪しや職人の技術だけではできない。醸造に使う樽などに長年すみついていく酵母菌などの相互作用により独特の風味ができていくという。そのため、醸造所によっては、百年を超す樽を大事に使い続けているという。言うまでもなく、甲南に流れている校風も一朝一夕にできたものではない。

今年、甲南高校は創立百十周年を迎える。平成三年の卒業生が贈ってくれた、西門の時計の支柱に「躍進！新たなる伝統の道」と銘記されているが、今、卒業生の熱い思いにしっかりと応えられているだろうか。

甲南ステージの主演は生徒一人一人だ。保護者や同窓会と一緒に全教職員が生徒のファンになり演出者になって応援していこう。  
さあ、皆で、声高らかに、肩組んで歌おう！  
ああ 甲南に  
栄光あれ！

長年、先輩から後輩に引き継がれ繋がれて、自然に生徒・教職員・学舎により醸し出されているのだろうか。

録有形文化財にも指定されているが、現在、創建当時の輝く姿に戻そうと着々と工事が進められている。工事関係者によると、甲南の学舎は、当時の最高の技術者が時間をかけて丁寧に作ったものだという。甲南に学ぶ者に最高の教育環境を提供しようとした古人の熱い思いが感じられるという。

バルハイスクール)に指定され、海外派遣や大学等と連携した体験的な学習活動を展開している。こうして取組を積極的に進めながら「地球規模でのものを考え行動するリーダー」の育成に努めている。むろん、成果はこれからであるが、生徒たちの変容を実感している教職員も多い。生徒諸君には、それぞれの人生でそれぞれの実りを大いに期待したい。